

平成 28 年度 瀬谷西高等学校 不祥事ゼロプログラム

瀬谷西高等学校は、事故・不祥事の発生をゼロにすることを目的として、「不祥事ゼロプログラム」を定め、全職員の参加による取組みを積極的に推進していく。

1 実施責任者

瀬谷西高等学校不祥事ゼロプログラムの実施責任者は校長とし、副校長・教頭及び事務長がこれを補佐する。また、総括教諭は、校長及び副校長・教頭を補佐し、事務長を補助する。

2 目標及び行動計画

(1) 教育委員会共通目標

① 法令遵守意識の向上【公務外非行防止、職員行動指針の周知・徹底】

(推進担当：キャリア支援G)

ア 目標

公務員として、県民の信頼を失うことのないよう、公務外非行の発生を未然に防止する。

イ 行動計画

- i 今年度も引き続いて、公務外非行に関する事故・不祥事やヒヤリハットの事例集を作成・配付し、事故・不祥事の未然防止を啓発する。
- ii 通常の職員の勤務についてだけでなく「職員行動指針」についても職員に周知徹底し、様々な事故・不祥事を未然に防ぐとともに、不祥事に対して適切な対応をとれるようにする。

② わいせつ、セクハラ行為の防止 (推進担当：生徒活動支援G)

ア 目標

教職員の人権意識を高め、セクハラ・わいせつ行為を未然に防止する。

イ 行動計画

- i 平成28年5月に全職員にスクールセクハラの啓発資料を配付し、セクハラ・わいせつ行為の防止を啓発する。
- ii 平成28年5月にスクールセクハラ自己チェックを実施し、スクールセクハラ防止の啓発を図る。
- iii 部活動インストラクター、教育実習生等に対しても、人権意識に関する注意を喚起する。

③ 体罰、不適切指導の防止 (推進担当：生活指導G)

ア 目標

体罰や不適切な指導の発生を未然に防止する。

イ 行動計画

- i 平成28年7月までに体罰や不適切な指導等の防止や指導の基準に関わる啓発資料を職員会議等で配付し、意識啓発を図る。また、さまざまな場面を想定したケーススタディなども取り入れる。
- ii 生徒指導等の際には、複数の職員であたるなど、適切な対応を行う。

④ 成績処理及び通知票や進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止
(推進担当：学事・学習G及びキャリア支援G)

ア 目標

成績処理及び通知票や調査書等の発行に係るミス無くす。

イ 行動計画。

- i 学期末の成績処理に係る点検項目を明確に示し、誤入力や点検漏れの徹底を図る。また、日常の担当者個人段階でのミスをなくすよう注意喚起する。
- ii 新成績処理支援システムに関するマニュアル兼用のチェック表を十分に活用し、円滑な運用に向けた研修会を開催する。
- iii 進学・就職・推薦それぞれの調査書点検に関するマニュアル兼用のチェック表を活用し、担当者対象の説明会等で十分に周知徹底する。

⑤ 個人情報等管理、情報セキュリティ対策（推進担当：総務・管理G）

ア 目標

情報セキュリティ対策を充実し、個人情報の流出を未然に防止する。

イ 行動計画

- i 平成28年4月に情報セキュリティに関わる規則等を職員会議等で全体に周知し、個人情報等の管理の徹底を図る。
- ii 平成28年10月までに校内共有フォルダ等を刷新し、個人情報等の管理の徹底を図る。
- iii 平成28年12月までにメール、ウェブサイト等の情報発信のシステムマニュアルを最新のものに更新する。
- iv 個人情報・著作権・肖像権に十分配慮して、常に最新の情報になるように更新に努める。

⑥ 交通事故防止、酒酔い、酒気帯び運転防止、交通法規の遵守（推進担当：研究・広報G）

ア 目標

交通事故の防止と酒酔い・酒気帯び運転を防止する。

イ 行動計画

- i 平成28年7月までに自家用車通勤者や運転免許保持者に資料を工夫した「チェックリスト」を配付し、注意喚起する。
- ii 平成28年11月までに交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止に関する啓発資料、チェックシート等を作成し、職員会議等で配付し、事故の未然防止に向けた意識啓発を図る。

⑦ 業務執行体制（推進担当：総務・管理G）

ア 目標

業務の執行体制の不備による事故を未然に防止する。

イ 行動計画

- i 引き続き、各グループ業務の見直しと次年度に向けた業務の再編整備を進める。
- ii 執務環境の整理整頓及び美化清掃を推進し、業務の円滑な執行体制を整備する。
- iii 不祥事ゼロプログラムに係る具体的な取組及び実施状況を継続的にとりまとめる。

⑧ 会計事務等の適正執行（推進担当：事務及び管理職）

ア 目標

現金管理を含む私費会計の適正な処理を行う。

イ 行動計画

- i 今年度についても部活動顧問総会で「予算の執行方法について」を配布、また「私費会計の適正な執行について」を職員会議で配付して私費会計事務全般の適切な運用について周知する。
- ii 財務事務調査の結果を踏まえた事故防止研修会を開催し、問題点はすぐに改善す

る。

⑨ 入学者選抜に係る事故防止（推進担当：入選委員会）

ア 目標

入学者選抜におけるミスを、完全にゼロにする。

イ 行動計画

- i 入学者選抜に関するマニュアルを作成し、職員会議での読み合わせを行い、未然に事故を防止する。
- ii 調査書点検等に係る点検項目を明確にし、誤入力や点検漏れの徹底を図る。
- iii 特に採点業務に関しては、県の新しいプログラムに従い、県民の信頼に応えるようミスゼロを確実に達成する。

(2) 瀬谷西高等学校独自目標

① 各種伺いや認定の届出（推進担当：事務及び管理職）

ア 目標

各種伺いや届出等の漏れや誤申請を未然に防止する。

イ 行動計画

各種届け出等に漏れがないよう、適宜点検及び指導を行う。

② 徹底した情報の共有化（推進担当：管理職及び企画会議）

ア 目標

「報・連・相」による情報の共有化の徹底を図り、組織的に学校運営に取り組み、事故・不祥事を未然に防ぐ。

イ 行動計画

- i 日々起こりうる事故防止に向け、年間を通じて「今週（または本日）の一言」として全職員で確認する。
- ii 管理職への連絡体制のさらなる確立と、情報の共有化の徹底を図り、いかなる案件の処理についても管理職及び関係グループ(学年)リーダーからの指示のもと、組織的に対応する。

※ 作成した「平成28年度不祥事ゼロプログラム」は、ホームページに掲載する。

3 実施結果

最終検証結果を、別に通知する時期（2月予定）に今年度の実施結果として取りまとめ、教育局行政課に報告する。

4 事務局

- ・不祥事ゼロプログラムの策定と実施の管理は事故防止会議がこれを行う。
- ・また、不祥事ゼロプログラム及び当該プログラムの検証結果をホームページに掲載する。